

災害から命を守る

今月の
イチ面



地震などの災害から命を守るためには、日ごろから対策・準備を怠らないことはもちろん、近所同士の助け合いも重要になってきます。災害はいつどのように起こるか分かりません。また、どんな対策や備えも継続していかなければ意味がありません。災害から身を守るために何ができるか、この機会に考えてみましょう。

危機管理防災課
TEL775-5140・FAX775-9927



被害を減らす三つの減災方法

①自宅の耐震性を確認

耐震診断で、自宅の耐震性について把握しておき、必要な場所には補強や修繕を行うことが必要です。

②家具・家電の転倒防止

過去の震災では、家具・家電の転倒で多くの人々が亡くなっています。家具・家電の固定やガラスの飛散防止フィルムを張るなどの対策をしましょう。

③火災による二次災害の予防

地震による火災の6割は、電気関係によるものです。避難する際には、家のブレーカーを落としてから避難しましょう。また、地震の揺れを感知して、自動的にブレーカーを落として電気を遮断してくれる感震ブレーカーの設置も有効です。

〈埼玉県家具固定サポーター登録制度〉

埼玉県では、建設業界団体と連携し、県民向けに家具固定の専門家を紹介する制度を行っています。相談、見積もりは無料です。詳しくは埼玉県危機管理防災部危機管理課ホームページ(☎<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/e01/>)をご覧ください。

※木造住宅の耐震診断・耐震改修の補助制度がありますので、詳しくは建築安全課(☎775-8490)に問い合わせるか『広報あげお』6月号9ページを参照してください。



災害時、正確な情報を集めるために

テレビやラジオ、また県や市で行っているメールによる災害情報の配信サービスなどを活用し、正確な情報を集めましょう。

〈メールによる情報配信サービス〉

市では災害情報をいち早くお伝えるために、メールによる情報配信サービス(メールマガジン)を行っています。利用には、パソコンか携帯電話のメールアドレスが必要になります。詳しくは市ホームページ(☎<http://www.city.ageo.lg.jp/page/mailmagazine.html>)をご覧ください。

～身近でできる災害対策チェックリスト～

身の回り、身近な部分で防災の備えがどのくらいできているか、当てはまるものにチェックを付けてみましょう。

- タンスや食器棚などの家具、冷蔵庫やテレビなどの家電を固定している。
- ガラスに飛散防止フィルムを張って、割れても飛び散ってけがをしないようにしている。
- 自宅の耐震性について、耐震診断や問題箇所には補強などの対策を行っている。
- 地震の際、自動的に電気を遮断する感震ブレーカーや感震コンセントを設置している。
- 自宅で水や食料品などの備蓄をしている。
- 自主防災会や地域の防災訓練などに積極的に参加している。
- 隣近所や地域の人と顔見知りで、コミュニケーションをとっている。
- ハザードマップなどを確認し、避難所や避難経路についてあらかじめ家族で決めている。
- 災害用伝言サービスの使い方を知っている、もしくは使用したことがある。
- 上尾市の災害情報や火災情報などについて情報を配信している「上尾市メールマガジン」に登録している。

ここに書かれている以外にも、できることや足りないものがないか探してみてください。

上尾市総合防災訓練

「関東平野北西縁断層帯を震源とする直下型地震の発生によって市内に大きな被害が発生した」という想定で防災訓練を実施します。

消防機関と各種ライフライン関係機関などによる災害時応急対策活動の訓練や、防災協定を締結する自治体、民間団体が参加・協力して緊急物資供給訓練などを実施しますので、ぜひご観覧ください。 ※起震車による地震体験・煙体験コーナーもあります。

☎8月23日(日)8～12時(予定) ㊦上平北小学校



消防団による一斉放水(昨年度・大石北小学校)